



## 大久保 毅彦

一般社団法人東北経済連合会 監事

ポストコロナ社会での持続可能、そして、成長し続ける社会の実現に向けて

2021年度の幕が開けました。昨年度は新型コロナウイルス、東京五輪延期、アメリカ大統領選等まさに激動、そして、変化の年でした。ニューノーマルの言葉が示すようにこれまでの常識が一変。テレワークやオンライン会議をはじめとしたデジタル化が当たり前となり、ポストコロナ社会への移行が加速度的に進んだ1年だったのではないのでしょうか。

さて、アメリカ・オーランドのウォルト・ディズニー・ワールド(以下、WDW)で利用されているマジックバンドのことをご存知でしょうか。腕時計を模したウェアラブル端末ですが、入園チケットやホテルのルームキーとしてはもちろん、クレジットカード連携がされておりパーク内での財布としても活躍する代物です。また、マジックバンドをした状態でWDWのキャストに近づくと、キャストの専用端末上に膨大なビッグデータとリンクしたゲストの情報が反映され、「～、ところで〇〇さん、人気の〇〇アトラクションには乗ったかい？まだ乗っていないなら、特別に〇〇アトラクションのファストパスを確保しようか？～」といった具合に、取ってフェイス・トゥ・フェイスでゲストが求めていると思われることを、偶然を装って提案してくるのです。WDWが人材育成の中で脈々と築きあげてきたホスピタリティとテクノロジーを掛け合わせながらリアルコミュニケーションを実践することで、これまでの幸福感を凌駕した、まさにディズニーの夢の世界が繰り広げられています。

これは観光業界におけるデジタルトランスフォーメーション(以下、DX)の一例ですが、ヒトはDXによって生活がより便利になったとしても、WDWで実践するリアルコミュニケーションに価値を感じるように、ヒトの本来欲求への探求はいつの時代も不変なのでしょう。むしろ、DX、IoT、AI等によって世界が日々激変するVUCAな時代だからこそ、人間らしさへの価値が増していくと思われまます。

このような時代背景において、東経連の有識者提言にある東北全体でヒトを育てる機能を創出することは大きな可能性を秘めていると考えます。例えば、高等教育のみならず、初等・中等教育とも連動した産官学連携プラットフォームが構築されれば、幼少期からさまざまなモノ、コト、ヒトに触れることにより、広い視野で自ら課題設定しながら解決していくチカラを備えた人材育成が可能になります。ともすると、AIに台頭されてしまうかもしれない将来、産官学連携下での教育だからこそ、AIには難しい人間らしい思考や感情に寄り添うことの出来る次世代人材育成が出来ると考えます。東北は、世界でも前例のない非常に特異でおもしろいヒトづくりエリアに成長することが出来るのではないのでしょうか。

最後に、今まさに東北の産官学がONE TEAMとなり、ポストコロナ社会での持続可能、そして、成長し続ける社会の実現に向けて大きな一歩を踏み出す必要があると考えます。皆様とともに“わきたつ東北”にチャレンジしていきましょう。

(株式会社JTB東北エリア広域代表 兼 仙台支店長・おおくぼ たけひこ)